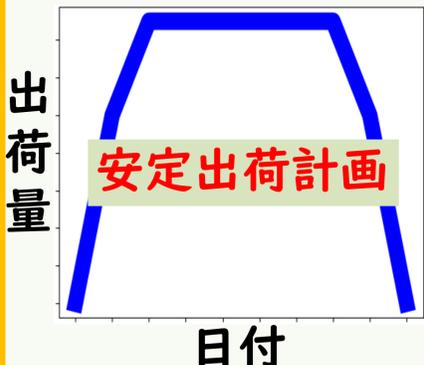


「品種」と「積算気温」をベースとした超簡易システム！ ブロッコリーの収穫期・収量予測システムを開発

企画調整部 企画・スマート農業研究担当
(共同開発：三神農業振興センター)

開発目的

ブロッコリーの 産地拡大 と 販売先への安定出荷 を目標



- ・産地として安定出荷をするための**栽培計画**が必要
- ・販売先への**計画出荷**



収穫期・収量予測で
栽培計画策定と販売先への計画出荷に貢献

どうやって収穫期・収量を予測をするのか？

下記の方法でブロッコリーの収穫期・収量を予測します。

【収穫期予測】

以下の予測方法を選択し収穫日を計算

◆品種の収穫所要日数◆

カタログに記載された「収穫所要日数」で計算
※任意の最高気温を上回った場合 及び 平均気温を下回った場合、
収穫所要日数にカウントしない機能も搭載

◆積算気温◆

任意で設定した「積算気温」に達する日を計算
※任意の地点の直近3年間の平年値データを使用

【収量予測】

◆出荷量計算◆

「面積」×「予想反収」= 「出荷量」
※予想反収は任意の値で過去の平均等を入力

2つの予測を組み合わせて、
いつ・どのくらいの量が取れるか計算！

システム画面

1. 必要項目入力 (入力項目：地区、品種、定植日、面積、設定積算気温、予想反収)

ブロッコリー計画生産・販売支援システムによる収穫予想

No	地区	氏名	品種	定植日	面積 (a)	★カタログ値 必要日数(定植)	設定 積算気温	★設定気温 到達所要日数	★採用収穫予定日	実出荷開始日	反収	積算気温 日数計算
												自動計算(面積×単収)
												★予定出荷量(kg)
1	〇〇	佐賀太郎	トップスター	2022年8月29日	10	60	1200	51	2022年10月18日		90.0	900
2	〇〇	佐賀太郎	はつみらい8上	2022年9月10日	5	70	1200	60	2022年11月8日		90.0	450

2. 収穫期・収量の予測結果「時系列出荷量」をグラフ化

